令和4年度　事業報告書

学校法人池田学園
東京服飾専門学校

1.教育理念と取組、成果

1 全ての教職員について実務経験において内外に示せる活躍を持つ人を採用し、「ファッション業界での即戦力となる人材の育成」を目標に、各学科が目指す職種に合致した教育を行うことを全教職員に徹底できていると評価するものである。
また創設者の池田淑子が考案した池田式製図法をはじめ、実践的な技術や知識を身に付けられるよう指導を行っている。
学生ひとりひとりが知識や技術を確実に身につくように、懇切丁寧な教育・指導を心がけている。

2 企業からの講師を交えた産学連携授業を積極的に取り入れることによって、現場で求められる知識や技能の習得を目指し、人材の育成に役立てている。さらにそうした知識や技術を持った学生を育成するべく、授業内容や設備の拡充を行った。

3 産学協同授業や研修などの授業内容や、就職実績などの情報を学校資料・ホームページ・オープンキャンパスの説明会資料で公開し、成果を明示している。

4 教職員および学生が、研修先企業の機密情報に触れる機会も多いため、コンプライアンスに対する意識教育を徹底して意識を高めることは、社会に出る上での大きな経験になると考えられる。
特に学生においては機密の取り扱いを理解するために、研修前に面談や誓約書の提出をおこない、問題発生の防止に努めてきており、職務によって知りえた情報の取り扱いに留意するという社会人としての常識を実践の場で身に付ける良い機会となっている。
また外部からも一定の評価がいただけるものと自負する。

5　検定試験においては以下の様な合格率結果となった。

パターンメイキング	3級	100%
パターンメイキング	2級	80%
色彩検定	3級	52%
色彩検定	2級	72%
色彩検定	1級	100%
色彩検定	UC級	100%
洋裁技術認定	初級	57%
洋裁技術認定	中級	41%
洋裁技術検定	上級	50%
ファッションビジネス検定	3級	35%
ファッションビジネス検定	2級	100%
ファッション販売能力検定	3級	100%
ファッション販売能力検定	2級	100%

6 上記について、入学志望者には体験入学や学校見学の機会を含め、学校パンフレット、ホームページ等において、入学を希望する学生や保護者に対しては様々な場面で周知を行っている。

2.学校運営について

1 引き続き入学志望者は募集定員の確保、一部の学科コースにおいては定員以上の応募者数がおり、定員を上回る結果となった。

2 ’21年度の後期より、DX教材や機材の導入を進め、新しい学びの形の実現を進めている。また教室環境の改善取り組みとして、別館校舎のリニューアルをし、全館の大規模修繕工事を順次実施している。

3 学校資料やオープンキャンパスでの説明会において、実施されているカリキュラムの内容や産学連携、インターシップ、就職状況などを適切に説明している。

3.学生就職率等について

アフターコロナに向けて、就職率向上のため、エントリーシートや履歴書の作成時から担任・就活指導担当による細やかなサポートを行っている。
ファッション業界は職種だけでなく、ブランドの系統、企業の特色なども学生の志望と一致しなければ早期退職につながるため、学生と面談した上でその志望を把握し、マッチングを考慮した適切な指導ができているものであると評価する。

実効性ある就職指導を実施するため、学年全体の就活指導担当を2名置いて充実を図った。
また、就活担当を各学科ごとに取りまとめることで、求人内容に設定された技能や資格、人格等の傾向を把握。
主要アパレル企業の採用担当者に密に連絡を取ることで、求められる人物像を常にリサーチしている。
業界との連携を強め、学内での企業説明会開催を強化している。

新型コロナ感染症の流行が落ち着き、アパレルファッション業界も新卒採用を再開してきている。
本年度の就職希望者内定率は平均で80%の結果となった。昨年度より5%、内定率が向上しているが、卒業時点で内定が決まらなかった学生については翌年度も就職室を開放し、引き続き就職指導と求人情報の公開をしている。卒業後、研究生として一年以内の就職を目標として指導を継続している。